**タイトル**

―サブタイトル―

名前は書かないこと（１行空ける）

**はじめに**（MSゴシック 12P）（任意。「はじめに」を付ける場合は番号無し）

　ああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ1)。（MS明朝 10.5P）

・書式を統一するため、このフォーマットに直接入力してください。

・ページ設定「上・左・右30mm/下25mm」、１頁40字×35行

・句読点は全角の「、」「。」を用いること。

・注は上の1)のように上付き数字で記入し、論文末に列挙すること。MSWordの「注機能」は使わないでください。

・表や図はそれぞれ通し番号を付け、タイトルも記入すること。

・その他「執筆要領」の書式に従うこと。

**１．章タイトル**（MSゴシック 12P）

　○○○○○○○○。（MS明朝 10.5P）

（１行空ける）

**1.1　節タイトル**（MSゴシック 10.5P）

**1.1.1　小節タイトル**（MSゴシック 10.5P）

　ああああああああああ、あああああ（あああああ）ああああああああああ、あああああああああああああああ1)。（MS明朝 10.5P）

・句読点は全角の「、」「。」を用いること。

・表や図はそれぞれ通し番号を付け、タイトルも記入すること。

・その他「執筆要領」の書式に従うこと。

（１行空ける）

**1.1.2　小節タイトル**

　あああああ。

（１行空ける）

**1.1.3　小節タイトル**

　あああああ。

（１行空ける）

**1.2　節タイトル**

　あああああ。

（１行空ける）

**1.3　節タイトル**

　あああああ。

（１行空ける）

**２．章タイトル**

　○○○○○○○○。

（１行空ける）

**３．章タイトル**

　○○○○○○○○。

|  |
| --- |
| ・図表には必ずタイトルを付けること。タイトルの位置は図表の上でも下でもよい。・図や表の中の文字の大きさは見やすいように9P以上とすること。 |

**図1（または表1）　タイトル**（MSゴシック 10P）

・例文番号の書式は任意とする。例文の文字の大きさは本文と同じ10.5Pとする。

　○○○○○○○○。

（１行空ける）

**おわりに**（MSゴシック 12P）（「おわりに」を付ける場合は番号無し）

　○○○○○○○○。（MS明朝 10.5P）

（１行空ける）

**注**（MSゴシック 10.5P）（MSWordの「注機能」は使わないでください）

1) ああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ。（MS明朝 10P）

2) ああああああ。

3) ああああああ。

（１行空ける）

**参考文献**（MSゴシック 10.5P）（表記は以下の書式に倣うこと）

(日中韓語の書籍) 編著者名（発行年）『書名--副題』出版社。（MS明朝 9P）

(日中韓語の雑誌論文) 著者名（発行年）「論文名--副題」『雑誌名』巻数(号数)、○-○頁。

(日中韓語の書籍中の論文) 著者名（発行年）「論文名--副題」(編者名『書名--副題』出版社)、○-○頁。

(日中韓訳書) 編著者名（発行年）『書名--副題』（訳者名、原著は○年発行）出版社。

(欧文の書籍) 編著者名（発行年）書名：副題, 発行地:出版社.

(欧文の雑誌論文) 著者名（発行年）“論文名: 副題,”雑誌名,巻数(号数), pp.○-○.

(欧文の書籍中の論文) 著者名（発行年）“論文名：副題,” 編者名ed., 書名: 副題, 発行地:出版社, pp.○-○.

（１行空ける）

・用例出典・資料などは参考文献の後に付ける。（MS明朝 9P）

・「研究助成金」など本人を特定する情報は採用後に書いてください。

制限枚数

・春季号論文は5～7 頁（図表・注・参考文献を含む）

・秋季号論文は10～15 頁（図表・注・参考文献を含む）

**要旨**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。（和文600字/15行以内。MS明朝 10.5P）

**キーワード：**○○○、○○○、○○○、○○○、○○○（５語以内。MS明朝 10.5P）

要旨とキーワードは上の制限枚数には含みません。

投稿の際は下記のファイルを事務局に送ってください。

1. 本ファイル

2. 投稿票

3. 指導教員等の投稿承諾書（学生会員の場合。100字以内で様式は任意）

　（論文の内容や評価について書く必要はなく、「投稿を承諾する」ということが書いてあれば結構です。執筆者の署名または押印は必要です。）